

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	神楽尾公園
(2) 指定管理者	所在地 津山市山北764番地5 名称 株式会社ガット 代表者 代表取締役 美甘信吉
(3) 公の施設の所管部署	津山市 都市建設部 都市計画課
(4) 指定期間	平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日
(5) 評価対象期間	平成 30 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	公園入園者数 61,604 人 (前年度 61,840 人) ゴーカート利用者数人回 9,766 回 (前年度 10,194 回) 管理棟研修室利用者 8 回 述べ 207 人 (前年度 5 回) 野外調理施設利用者数 1,361 人 (前年度 1,338 人)
(2) 事業の内容	4月・・・神楽尾公園さくらまつり 春の交通安全教室(総社保育園) 5月・・・端午の節句イベント、鯉のぼり展示 7月・・・七夕そうめん流し 8月・・・3人乗りトレーラー式電動カーデビュー フォトフレームづくり 9月・・・秋の交通安全教室(コッコ保育園) 11月・・・AUTUMN FES 開催 12月・・・ハーバリウム体験 1月・・・新春祭 2月・・・雛人形展示

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	8,746 千円 (前年度 8,829 千円)
	利用料金収入	1,302 千円
	指定管理料	7,200 千円
	自主事業収入	41 千円
	その他の収入	203 千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	8,621 千円 (前年度 8,660 千円)
	主な支出	
	人件費	5,326 千円
	事務費	743 千円
	管理費	2,286 千円
	自主事業	266 千円

4 総合評価結果

<p>(1) アンケート調査等の概要</p>	<p>利用者アンケート調査について、平成 30 年 10 月 6 日～11 月 18 日、平成 31 年 3 月 23 日～3 月 31 日の期間で、アンケート調査を実施。40 件の回答を頂きました。公園利用者年代別に 30 代が最も多く、次いで 40 代、60 代の方など広く利用を頂いています。今回は特に 30 代のお子様連れからの回答を多く頂きました。地域別の利用割合も津山市内が大多数で、地域に密着した施設という印象です。少数ですが津山市外や県外からいらっしゃった方もいました。「帰省時に寄った」、「ゴーカートがあると聞いて立ち寄ってみた」、「ゴーカートがやすくてよい」、「ホームページを見て来た」、「孫を連れてきた」などの意見がありました。団体別の割合では家族での利用が最も多く 8 割を占め、家族で楽しめる公園という印象を維持しています。公園の印象についてのアンケートでは、清掃面、安全面、職員の対応など大多数から「良い」という評価を頂戴しました。特に職員の対応には多くの方から良いと評価頂いています。次回の公園利用についてはほとんどの方に「次回も利用したい」という結果を頂き、これからも長く利用して頂ける公園づくりに力を入れていきたいと思えます。</p> <p>要望・感想として「看板が見にくい(老朽化)」、や「トイレが男女共同で使いづらい」という声がありました。園内の清掃・整備・美化に引き続き取り組み、来園される皆様気持ちよく過ごして頂けるように日々の業務に努めてまいります</p>
<p>(2) 指定管理者の自己評価</p>	<p>入園者数は新入園者数計算方式を用い、61,604 人となり前年と比べ 236 人減。4 月は例年より桜の開花・散りが早く、7 月は大雨の影響並びに猛暑、3 月の天候不順が利用者減少の要因となりました。8 月お盆以降 2 月までは天候も安定し前半の低迷をカバーできる結果となりました。ゴーカート全体の売り上げは前年と比べ減少していますが、低年齢でも親子で利用できる 2 人乗り、3 人乗り電動カーの運用を開始し、その利用が増えたことが前年に比べ入園者の減少値が少なかった要因と考えられます。</p> <p>快適な公園を目指し、剪定、草刈、除草、整備に取り組みました。年度事業計画に対しては、利用者人数は減少しましたが、公園管理、自主事業等は、計画通りに実施する事ができました。</p> <p>収益について、 支出面では、花見シーズンや GW といった繁忙期の安全を考慮した警備費用、夏の猛暑対策としてミストシャワーの設置や冷房稼働日数の増加による光熱費の増加がありました。 支出について、年間計画を軸に月単位のシフト管理によって人件費の削減につながりました。従来行っていた地域密着型の紙面でのチラシの回数を減らし、ホームページや Twitter による情報発信を増やし広告宣伝費を削減しました。各項目、増額の科目、減少の科目とばらつきはありましたが人件費の削減により支出総額の減少に繋がりました。</p> <p>収支結果について、平成 29 年度に続き平成 30 年度も黒字となりました。今後は、現在の収支を如何に維持・増加させていくことで、黒字増加を目指していきたいと思えます。平成 31 年度も継続した収益向上を目標に尽力します。</p>

	<p>事業計画にあるイベントを実施し、年間を通して計画どおりイベントを実施できました。</p> <p>平成 30 年 3 月末にデビューした 2 人乗り電動カーや 8 月にデビューした 3 人乗りトレーラー式電動カーはエンジン式ゴーカートに乗れない年齢層の方に人気で、新しいものの導入により来園者へのサービス向上につなげることができました。今後も安心、安全を最重点に利用者の方に喜ばれる施設づくりに尽力します。</p>
(3) 市の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画に基づき管理運営業務は着実に実施されている。 ・ 収支計画は事業計画と整合しており、経費の削減に努め、効率的な運営が実施されている。 ・ 職員の適切な人員配置や育成がなされ、日常の事故防止・安全対策が実施され、緊急時の連絡体制、役割分担制が整っている。 ・ 周辺地域住民の要望に応え、良好な関係に努めている。 ・ 施設の利用を促進させるため、自主事業の開催内容等について、雑誌への掲載・HP・SNS により誘客に努めている。 ・ 公園施設を活用した四季折々のイベントを実施している。また 3 人乗りトレーラー式電動カーや猛暑時のシャワーミストなどを導入し来園者へのサービス向上へ努めている。